MOL INTERIM REPORT

2025年度 中間報告書

［2025.4.1～2025.9.30］

商船三井

証券コード:9104

REPORT

2026年に新クルーズ船「MITSUI OCEAN SAKURA（三井オーシャンサクラ）」就航
大手タンクターミナル会社の買収完了、ケミカルロジスティクス事業を強化
大阪・関西万博で「船」の未来示す
海の日記念行事でLNG燃料自動車船を公開

2025.NOV

株主の皆様へ

2025年度中間期（第2四半期累計期間）の連結業績をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2025年度上期はエネルギー事業、自動車船事業での堅調な輸送需要により利益を積み上げ、予想を上回る業績を達成しました。一方、通期ではコンテナ船事業の減益見通しを反映し、親会社株主に帰属する当期純利益予想を1,800億円といたしました。

2025年度の中間配当は、1株当たり85円といたします。また、期初に想定しておりました関税影響による過度な業績下振れリスクが後退している状況を考慮し、期末配当は1株当たり25円増額し、年間配当は1株当たり200円を予想しております。

2025年は、グループ経営計画「BLUE ACTION（ブルーアクション） 2035」のPhase 1（2023～2025年度）の最終年度にあたり、2026年度から始まるPhase 2を策定する重要な年です。Phase 1期間で決定した投資の収益化を着実に進めるとともに、企業価値向上に資する投資の継続と株主還元のバランス、財務規律を意識しながら、安定的かつ持続的な成長の実現に向けた計画を策定してまいります。

株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

業績推移

※単位：億円

		2025年3月期		2026年3月期	
		中間	通期	中間	通期（見通し）
連結	売上高	9,006	17,754	8,697	17,500
	営業損益	893	1,508	718	1,040
	事業損益（注）	2,560	4,132	1,096	1,550
	経常損益	2,509	4,197	1,146	1,520
	親会社株主に帰属する当期（中間）純損益	2,485	4,254	1,162	1,800
為替レート（期中平均）		¥153.71／$	¥152.79／$	¥146.09/$	¥145.75/$
船舶燃料油単価（期中平均）		$625／MT	$603／MT	$546/MT	$430／MT〈HSFO〉 $505／MT〈VLSFO〉
配当金		180円／株	360円／株	85円／株	200円／株

（注）営業損益＋持分法投資損益

2026年に新クルーズ船「MITSUI OCEAN SAKURA（三井オーシャンサクラ）」就航

2026年9月、クルーズブランド「MITSUI OCEAN CRUISES（三井オーシャンクルーズ）」に新たなクルーズ船「MITSUI OCEAN SAKURA（三井オーシャンサクラ」が加わります。2024年12月に運航を開始した「MITSUI OCEAN FUJI（三井オーシャンフジ）」と同じく、コンパクトな船体を活かし、日本各地の大小さまざまな地域への寄港が可能です。また、伝統と想いの詰まったお食事を含む船内サービスを継承しつつ新しい価値をご提供します。多くのお客様にご利用いただきやすい短期～中期を中心とした旅程で「日本の美しい船旅」をお届けする同船のデビュークルーズの販売開始は、2026年1月を予定しています。

大手タンクターミナル会社の買収完了、ケミカルロジスティクス事業を強化

欧米で7つのタンクターミナルを運営するLBC Tank Terminals（エルビーシータンクターミナルズ）社の買収を2025年6月30日に完了しました。取得価格は17億1,500万ドルで、当社にとって過去最大のM&Aとなりました。グローバルなケミカル（化学品）の需要は人口増加・経済成長とともに成長が見込まれ、既存のケミカルタンカー事業・タンクコンテナ事業との連携により、ケミカルロジスティクス事業を一層強化します。タンクターミナル事業は収益の変動が小さく、安定収益型ビジネスの柱として成長を見込んでいます。また、アンモニアをはじめとする次世代エネルギー事業の展開にもつなげていきます。

大阪・関西万博で「船」の未来示す

2025年4月から10月に開催された2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の未来社会ショーケース事業フューチャーライフ万博「未来の都市パビリオン」にブロンズパートナーとして協賛しました。風の力で水素を製造・運搬する次世代のゼロエミッション船「ウインドハンター」の大型模型を中心とした体験型アトラクションを展示し、約165万人の方々に楽しみながら当社の地球環境の保全への取り組みをご覧いただきました。さらに、持続可能燃料や水素をテーマに、万博内の関連イベントに参加し、脱炭素社会の実現に向けた当社の技術とビジョンを広く発信しました。

海の日記念行事でLNG燃料自動車船を公開

海の日の7月21日、東京国際クルーズターミナルに入港した当社運航のLNG燃料自動車船「CELESTE ACE（セレステエース）」で一般向けの船内見学会を開催しました。約600人の小中学生・高校生とそのご家族に向けて、船内では操縦室や貨物スペースでの車の積み付けの様子、船員の居住スペースなどをご案内しました。併せて、ターミナル内では操船シミュレーター体験や現役の航海士・機関士による仕事紹介トークショーなども実施。次世代を担う子どもたちなど多くの方々に船や海運業への理解を深めていただく機会となりました。